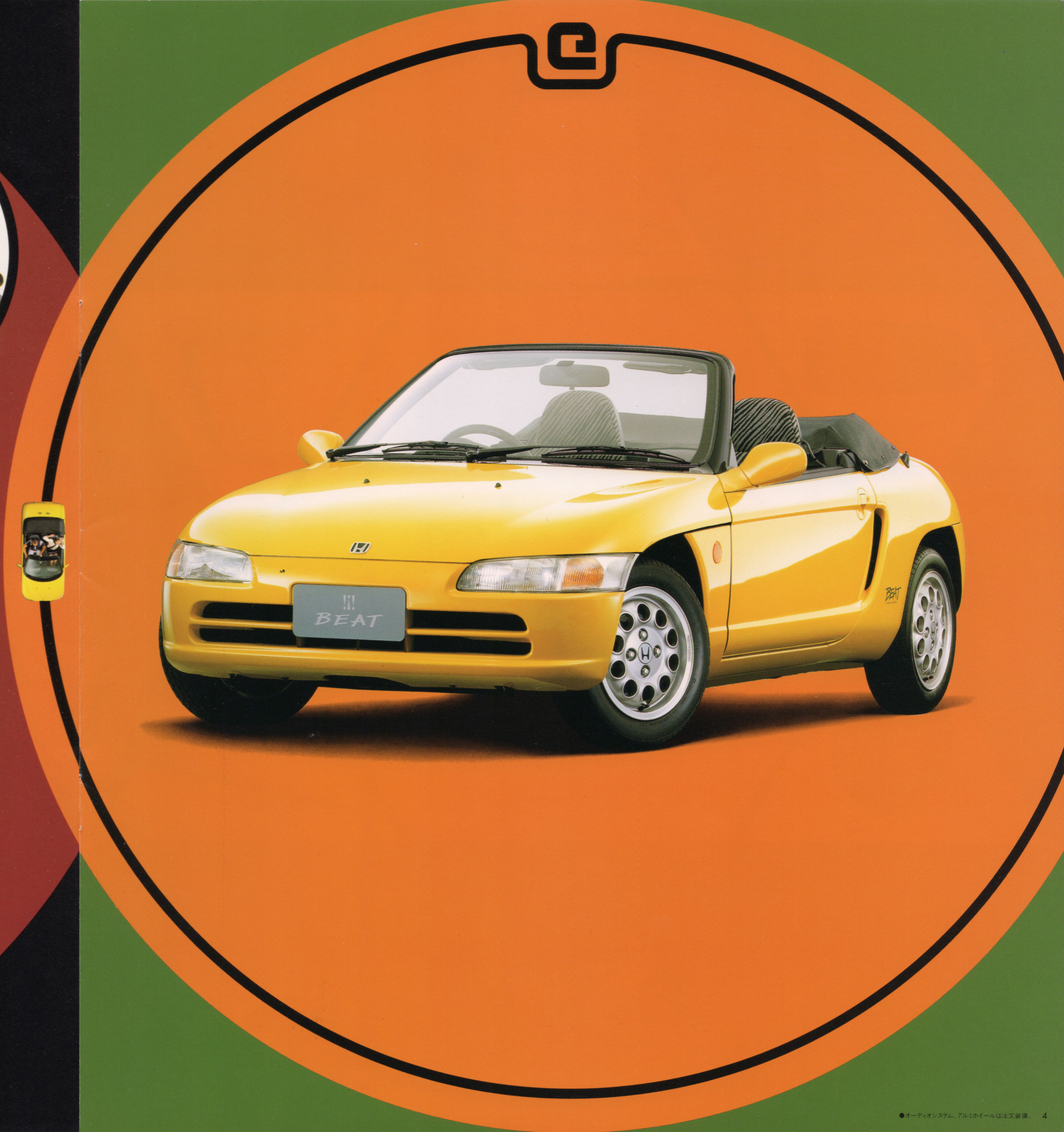






キーを入れエンジンをかける。クラッチをつなぎアクセルを踏み込む。
ふつうのクルマと同じように、ドライブをはじめてください。
違ってくるのは、景色が流れはじめてから。
セダンやクーペや、いままでのオープンカーでは味わえなかった、新しい走りの世界をプレゼントします。
パーソナル・コンピューター「ビート」誕生。







!!!
 Midship engine layout ;
 convertible body styling
 MTREC 12-valve engine
 4-wheel disc brakes
 Different size front and rear tires



●写真のフェルリッドは注文装備。

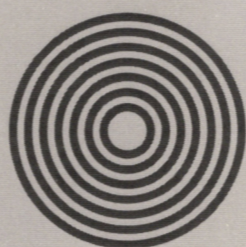
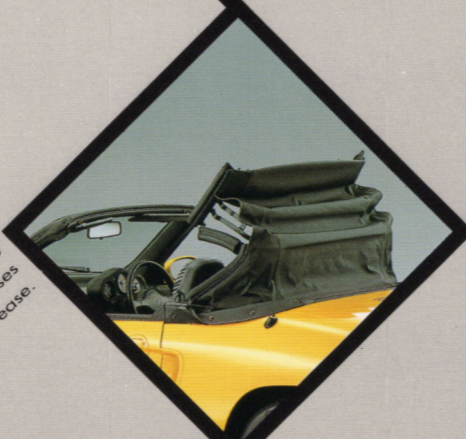
5 ●オーディオシステム、アルミホイールは注文装備。

●オーディオシステム、リアスポイラー、アルミホイール、エキゾーストパイプは注文装備。 6

Enjoy the breathtaking
freedom of
open air driving.

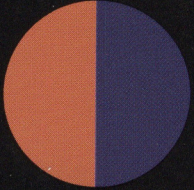


The soft top
opens and closes
with ease.





Three individual meters Power windows Bucket seats
Air conditioner



持ちよく流れるように、フロントウィンドウの傾斜角と曲率をじっくり検討し、最適なバランスを選んでいます。エアコンディショナーは標準装備。冬でも快適な走行が楽しめるよう、ヒーター性能も十分に考慮しました。またメーターやスイッチ類は防滴処理を、シートにも撥水処理を施しています。できればいつも幌を開けて爽やかに走ってほしい。BEATは、そんな思いが込められたクルマ。インテリアにも元気な空気があふれているのです。

BEAT(ビート)。走らせる面白さを最優先させたクルマ。小さなオープンボディのなかに、しっかりと身体を支えるバケットシートが2つ。低く、安定したポジション。この場所に座って、高感度エンジンの心地よいレスポンスと、ミッドシップならではのダイレクトな操縦感を全身で受けとめる。風景はまるで違って見えるし、ハンドリングも、いままでにはなかった手応え。この面白さは、言葉ではちょっと説明できなくて、乗っている人だけが味わえる快感なのです。走らせる楽しさを最優先させたクルマ。そのシートに、ぜひ身体をしずめてみてください。きっと大好きになります。

開放的なキャビン。風とふれあう感覚を大切にしました。風を感じながら走る喜び。これはバイクに乗る人がクルマに対してもつひとつの優越感でしょう。せっかくオープンエアなのだから、BEATもそんな開放的な気分をインテリアに取り入れたいと考えました。インパネとコンソールを交差させたクロスバーインパネを採用し、確かな包まれ感とともにすっきりとした広さ感を与えたのもそのため。配色も軽快なイメージのツートーンに。インパネから独立させた3眼メーターも、オープンならではのデザインです。そして何より大切にしたのは風。オープン空間を風が気

楽しいドライブは、シートベルトの正しい着用から。

ドライバーとクルマの素敵な関係は、まず「安全」という大きな支えがあってはじめて成り立つもの。いつまでも安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、シートベルトの正しい着用をお願いいたします。

ホンダのクルマづくりの基本にあるのも、確かな安全性をめざす技術姿勢。BEATにも、SRSエアバッグシステムの採用や、シートへの難燃材使用のほか、さまざまな視点から安全性に配慮を施しました。



作動時の写真を合成したものです。

SRS = Supplemental Restraint System
(シートベルトを補助する乗員保護装置)

SRSエアバッグシステムは、あくまでもシートベルトを締めることを前提として開発されたシステムです。したがって、その乗員保護効果はシートベルトを正しく着用して初めて発揮されることを、くれぐれもお承知おください。

①ホンダSRSエアバッグシステム(運転席用)※装着車を設定)正しく着用されたシートベルトを補助し、ハンドルに顔面が当り怪我をするような前方向からの強い衝突で作動し、運転者の顔面を保護するシステムです。センサー、インフレーター、エアバッグ、診断ユニット等がステアリングホイール中央部のパッド内にコンパクトに組み込まれています。 ※TYPE I

●SRSエアバッグシステム装着車は、小径4本スポークステアリングホイールとなります。(写真:右)

②シートベルト締め忘れ警告灯&ブザー(運転席用)

③ハイマウント・ストップランプ付リアスポイラー*



③



④ドアビーム

- 難燃材(内装)
- ねじ式フューエルキャップ
- 二重アクセルリターンズプリング



④

*ハイマウント・ストップランプ付リアスポイラーは販売店で
の注文装備です。詳しくは販売店でお問い合わせください。

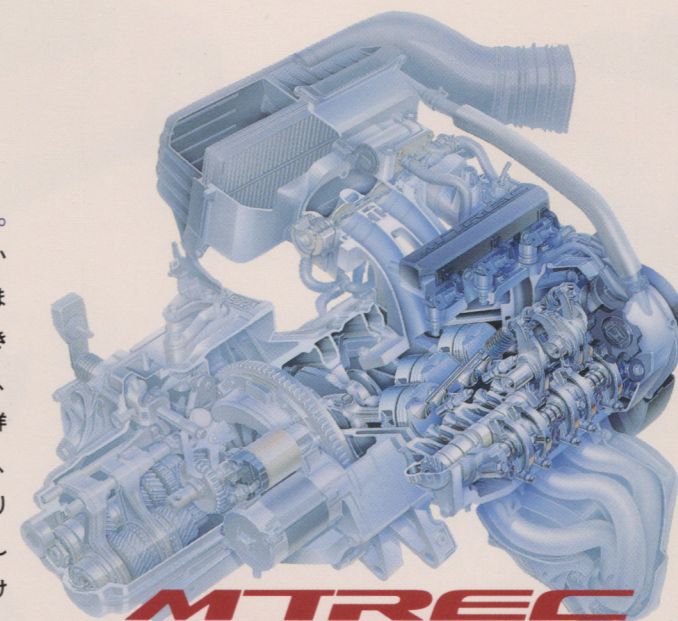
CONSTRUCTION

ミッドシップを採用。あなたのイメージに、どこまでも素直な走りです。クルマを思いのままに走らせることの爽快感。BEATがめざした性能は、まさにそれです。走る・曲がる・止まるというクルマの挙動ぜんぶを手中におさめて、イメージどおりに操る。エンジンを車体のほぼ中心部に配置したミッドシップレイアウトを採用したのも、あなたの意思に、どこまでも素直なコントロール性を求めたからです。「1名乗車時で43:57」という優れた前後重量バランス。ぐっと低い重心位置。クルマの動きが、いつもこちらの気分がぴったりとフィットしてくれる。ミッドシップ・アミューズメント。その身のこなしは、まるで身体の一部のようです。



世界初のミッドシップ・フルオープンモノコックボディを与えました。ミッドシップによる高いコントロール性を走りの特長としたBEATにとって、ボディ剛性はとても大切な性能の基本です。なぜなら、土台であるボディがしっかりしていないと、サスペンションの正確な動きがスポイルされ、せっかくの俊敏さをだいなしにしてしまうから。ボディ剛性の高さは最重要課題です。BEATに与えたのは、最新のコンピュータ解析技術を駆使して設計された、ミッドシップでは世界初のフルオープンモノコックボディ。フロアトンネルのボックス断面化や、サイドシルを2重構造にするなど、数々の工夫が生かされたこの専用ボディは、軽量化や居住スペースを犠牲にすることなく、きわめて高い剛性を実現しています。

★量産車 ●全体透視図/SRSエアバッグシステム装着車。
リアスポイラー、アルミホイールは注文装備。

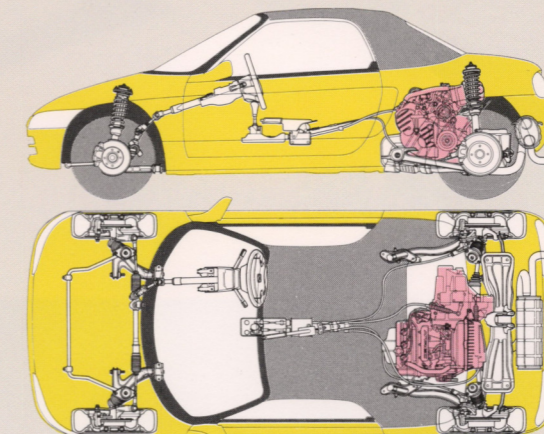


MTREC 12 VALVE

MTREC: Multi Throttle Responsive Engine Control System
多連スロットルによる高応答性エンジン制御システム

最高出力(ネット値) **64PS/8,100rpm**
最大トルク(ネット値) **6.1kgm/7,000rpm**
10モード走行燃料消費率(運輸省審査値) **17.2km/ℓ**
60km/h定地走行燃料消費率(運輸省審査値) **27.0km/ℓ**

*「ネット」とはエンジンも車両搭載状態で測定したものです。●燃料消費率は、定められた試験条件での値です。従って走行条件等により異なります。



●SRSエアバッグシステム装着車。

気持ちにぴったり直結したエンジンが欲しかった。ミッドシップ・アミューズメント。その中心部には、いったいどんなエンジンが置かれるべきでしょう。まず、充分なパワーはぜひとも必要です。そしてできるだけ軽量・コンパクトに、低燃費に。しかもそこに、アクセル(あなたの意思)に限りなく直結した抜群の応答性が欲しい。だから当然、前提となるのは、タイムラグのある過給器に依存しないこと。つまり自然吸気エンジンです。高効率と小型軽量、そして自然吸気エンジンの鋭いレスポンスをどれだけ磨けるか。これが開発に与えられたテーマでした。高感度MTREC(ミッドレンジ)12バルブエンジンの誕生。この新エンジン開発のために、ホンダはF-1の技術を生かしました。つまり、極限の吸入効率でスロットルの動きに鋭い追従性をみせるF-1エンジンの吸気システムと燃料噴射制御システムに着目、応用したのです。そこから生み出されたのが、「多連スロットル」と「2つの燃料噴射制御マップ切り換え方式」によるハイレスポンス・エンジンコントロールシステム“MTREC”。このシステムを核として、MTREC12バルブエンジンを完成させています。自然吸気660エンジンでは日本初の最高出力64馬力。10モード燃費17.2km/ℓという優れた経済性。そして気持ちに直結したような高感度なレスポンスが、いまBEATの心臓部に収められています。

シフトフィールが、たまたなくいい。5速マニュアル。クラッチペダルとシフトレバーを駆使し、思いどおりにギヤをつなげてゆく快感は、クルマ好きにはこたえられない面白さ。BEATはシフトストロークを40mmときわめて短く設定し、独自の技術とノウハウで、そこに充分な軽さと剛性感を与えました。手首をかえすだけでカチカチと決まるシフトフィーリングを、心ゆくまで楽しんでください。ギヤ比も、各ギヤでエンジンのポテンシャルを存分に楽しむことのできるクロスレシオ。ダイナミックな走りが引きだせます。ブレーキやサスペンションも、自慢したい部分です。「走る・曲がる・止まる」を支える脚まわりの性能にも、しっかり配慮しました。もともとミッドシップはブレーキがよく効くといわれますが、BEATの場合、さらにこのクラス初の4輪ディスクブレーキを投入。トップレベルの制動性能を与えています。そしてサスペンションは、あくまでミッドシップの優れた運動性能を引き出すことにマツをしばって徹底チューニング。重量配分に合わせリアのグリップ力を高く設定した前後異径タイヤ(13インチ/14インチ)とともに、確かな直進安定性とリニアなハンドリング性能を発揮します。耳まで楽しませたい。排気音をファインチューニング。サイレンサー内部の構造などに絶妙なチューニングを施し、低域を重視した独自の排気音をつくりだしました。耳も退屈させない、欲張りなクルマです。

*軽乗用自動車



カーニバルイエロー



フェスティバルレッド



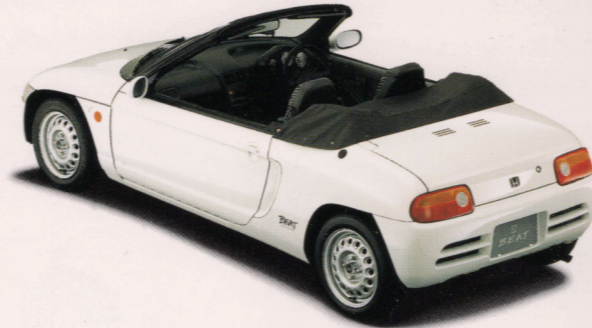
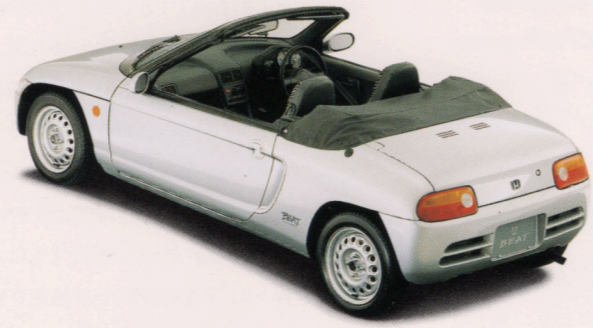
BODY COLOR



ブレッドシルバー・メタリック



クレタホワイト



ACCESSORY



スカイサウンドコンボ120W



アルミホイール



フューエルリッド



エキパイフィニッシャー



プロジェクターフォグライト

●アクセサリはすべて販売店での注文装備。詳しくは販売店へお問い合わせください。

主要装備

INTERIOR

- SRSエアバッグシステム(運転席用)*1
- エアコンディショナー(マニュアル)
- プッシュ式モードスイッチ
- サイドデミスター
- パワーウィンドウ
- 独立3眼メーター(トリップメーター付)
- 小径3本スポーク・ステアリングホイール*2
- バケットシート(ヘッドレスト一体式)
- フットレスト(運転席側)
- 3点式ELRシートベルト(締め忘れ警告ブザー&警告灯付/運転席用)
- シート一体シートベルトアンカー
- サンバイザー
- 昼夜切り換え式ルームミラー(接着タイプ)
- キー付ドキュメントボックス
- アシスタントボックス
- リアコンソールボックス(カセットホルダー付)
- フューエルリッドオープナー
- イグニッションキー抜き忘れ防止ブザー
- インテリアランプ(運転席側/ドアスイッチ付)

EXTERIOR

- ソフトトップ(折りたたみ式)
- ドアビーム
- フロント合わせガラス
- サイド強化ガラス
- 異形2灯ハロゲンヘッドライト
- ボディ同色ドアミラー*3
- ボディ同色ドアハンドル
- ミスト機構付フロントワイパー(間欠付)

MECHANISM

- スタビライザー(フロント)
- 4輪ディスクブレーキ(サーボ付)
- 前後異径スチールラジアルタイヤ(前:155/65R13・後:165/60R14)
- スチールホイール(前:13×4 1/2J・後:14×5J)

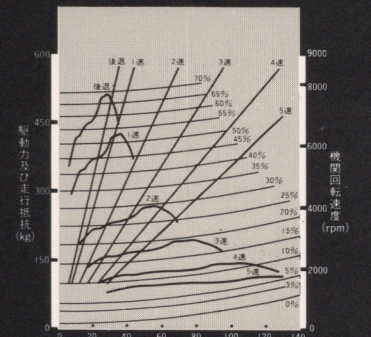
- *1 TYPE II 装着車を設定。
- *2 SRSエアバッグシステム装着車は、小径4本スポーク・ステアリングホイールとなります。
- *3 ファンダミラー(ブラック)もお選びいただけます。ただし、速度情報装置とセット装着となります。(なお、その場合はSRSエアバッグシステムは装着できません。)
- 本仕様ならびに装備は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 本カタログの写真は印刷のため、実際の色と多少異なることがあります。
- カラー・注文装備等により、納期が異なりますので販売店にお問い合わせください。

主要諸元

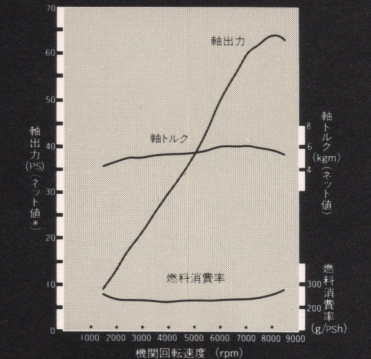
ボディタイプ	2ドアコンバーチブル
車名・型式	ホンダ・E-PP1
トランスミッション	5速マニュアル
寸法(m)	全長 3.295 全幅 1.395 全高 1.175
ホイールベース(m)	2.280
トレッド(m)	前 1.210 後 1.210
最低地上高(m)	0.135
車両重量(kg)	760
乗車定員(名)	2
客室内寸法(m)	長さ 0.915 幅 1.215 高さ 1.015
エンジン搭載位置/駆動輪	ミッドシップ/後輪
エンジン型式	E07A
エンジン種類	水冷直列3気筒横置(無鉛レギュラーガソリン使用)
燃焼室形式	ベントルーフ形
弁機構	SOHCベルト駆動 吸気2排気2
総排気量(cc)	656
内径×行程(mm)	66.0×64.0
圧縮比	10.0
燃料供給装置形式	電子燃料噴射式(ホンダPGM-FI)
燃料ポンプ形式	電動式
燃料タンク容量(ℓ)	24
潤滑油容量(ℓ)	3.0
潤滑方式	圧送式
点火装置形式	フル・トランジスタ式バッテリー点火
最高出力(PS/rpm)ネット値*	64/8,100
最大トルク(kg·rpm)ネット値	6.1/7,000
燃料消費率(km/ℓ)	10モード走行(運輸省審査値) 17.2 60km/h定地走行(運輸省届出値) 27.0
最小回転半径(m)	4.6
制動停止距離(m)	13.0(初速50km/h時)
クラッチ形式	乾式単板ダイヤフラム
変速機形式	常時噛合式(後退は選択しゅう動式)
変速機操作方式	フロア・チェンジ式
変速比	1速:3.428 2速:2.166 3速:1.576 4速:1.172 5速:0.941 後退:4.300
減速比	5.714
かじ取り装置形式	ラック・ピニオン式
タイヤ(前・後)	155/65R13 73H・165/60R14 74H
主ブレーキの種類・形式	制動倍力装置:真空倍力式 前:油圧式ディスク 後:油圧式ディスク 作動系統及び制動車輪:2系統式(前2輪・後2輪)
懸架方式	前:マクファーソン式 後:マクファーソン式
スタビライザー形式	トーション・バー式(前)

- 燃料消費率は定められた試験条件のもので値です。実際の走行時には、この条件(気象、道路、車両、運転、整備などの状況)が異なるため、それに応じて燃料消費率が異なります。
- *エンジン出力表示には、ネット値とグロス値があります。「グロス」はエンジン単体で測定したものであり、「ネット」はエンジン車両に搭載した状態とほぼ同条件で測定したものです。同じエンジンで測定した場合「ネット」は「グロス」よりも約10%程度低い値(目工会調べ)となっています。
- PGM-FIは本田技研工業株式会社の登録商標です。MTRCは商標です。
- 道路運送車両法による型式指定申請書数値 ■製造事業者:本田技研工業株式会社

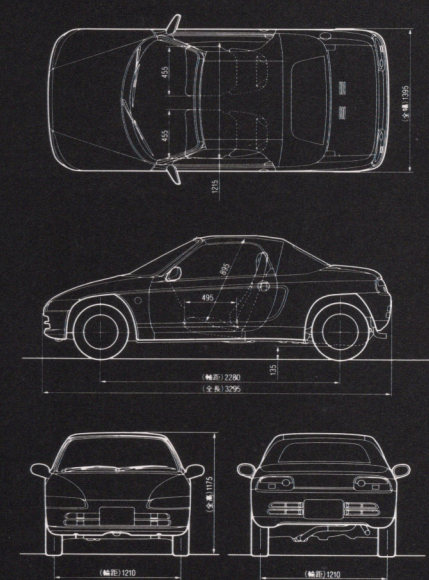
走行性能曲線図



エンジン性能曲線図



四面図 単位:mm



スピードはひかえめに、 シートベルトをしめて安全運転。

クルマもバイクもセーフティ・ラン!

安全で快適なカーライフのために。
ホンダからのお知らせです。

■安全運転のために

- 交通法規を守り、安全運転を心がけてください。心に余裕をもって運転されるのが大切です。
- 高速道路をはじめ、一般走行でも必ずシートベルトを着用しましょう。同乗者にもシートベルトをお願いします。
- やむをえない場合以外は、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなどの操作は避けましょう。車の寿命を縮めるもととなり、また経済性、安全性からも好ましくありません。

■保証期間

新車を登録した日から3年間、ただし、その期間内でも走行60,000kmまでです。また、ホンダがとくに指定した部品は5年間、ただし、その期間内でも走行100,000kmまでです。なお、保証内容は保証書にてお確かめください。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

■定期点検をどうぞ

車がいっつも安全快適であるため、ホンダ指定の新車時の1ヵ月目・6ヵ月目点検(点検料無料)及び法定の運行前点検・定期点検が必要です。

- 運行前点検とは、自動車を運行する人が、1日1回、運行する前に行なう点検です。この点検は運転席に座ったり、エンジン・ルームをのぞいたり、自動車の回りをまわりながら自動車の状態をみることによって容易にできるものです。
- 定期点検とは、自動車を使用する人が、定期的に行なう点検です。軽乗用自動車の初回の車検は3年目、以降は2年ごとに必要です。販売店にお申しつけください。

■純正部品・オイル

車の性能、機能を維持するために、最もふさわしいホンダ純正部品・オイルをお使ください。

■燃費を良くするために

- 運転はスムーズに。急加速など「急」のつくことは避けましょう。車速に適したギヤを選んで走りましょう。
- 点検・整備を徹底し、つねに最良の状態に。タイヤ空気圧を適正にしましょう。

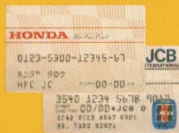
■安心してできるカーライフのために

- 自賠責保険だけでなく、十分な任意保険に加入しましょう。

※ご愛用のさいは、取り扱い説明書、整備手帳(保証書)をよくごらんいただきますようお願いいたします。

HONDA CARD

ホンダカードをおもちになると、キャッシュレスで、全国のホンダカード加盟店のホンダ製品及び用品の購入、車検等に、総額100万円(利用限度額)までご利用になれます。また、簡単な手続きで分割払いもできます。JCBホンダカードは、さらに国内外合わせて180万店のJCB加盟店(全国各地のホテル、デパート、専門店、ガソリンスタンドなど)でもご利用いただけます。●お問い合わせは、ホンダ販売店(加盟店)へお気軽にどうぞ。



H Hondaリース

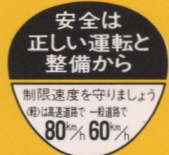
カーリースは、愛車獲得の新しい方法として、いま注目のシステムです。クルマの管理業務からあなたを解放し、維持管理の手間やコスト面でのムダを軽減。合理性と快適さをもたらす、先進のカーライフです。個人、法人にかかわらず、お気軽にご利用ください。●お問い合わせは、ホンダ販売店へどうぞ。



●ホンダリースのマスクットです。どうぞよろしく。

■軽自動車にも保管場所が必要です。
詳しくは、販売店にお問い合わせください。

Hマークのホンダエンブレムはつねに先進のクオリティ・カーをお届けする世界のホンダのアイデンティティです。



お問い合わせ、ご相談はお近くのプリモ店またはお客様相談部まで

本田技研工業株式会社 お客様相談部
全国共通・フリーダイヤル ☎ 0120-112010

HONDA
本田技研工業株式会社
〒107 東京都港区南青山2丁目1番1号
本カタログの内容は1991年5月現在のものです。

ホンダプリモ鳩ヶ谷
有限会社 千代田技工
鳩ヶ谷市南1-3-14 TEL 0482(81)3575



クルマが家族になる。
ホンダプリモ店

ビート/アスコット/シビック/トゥデイ
アクティ&ストリートをお届けします。